

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年5月24日

奈良県知事 殿

提出者 〒531-0047  
住 所 大阪府大阪市北区西天満5-6-4  
SNビル3階  
氏 名 フジタ道路株式会社 大阪支店  
支店長 頼富 輝一郎  
電話番号 06-6363-0961

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	フジタ道路株式会社 大阪支店
事業場の所在地	大阪府大阪市北区西天満5-6-4 SNビル3階
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

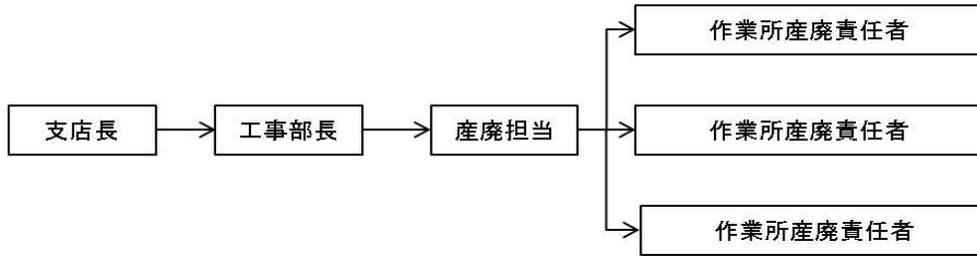
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	06 総合工事業				
② 事業の規模	請負完了工事高 1,241,000,000円				
③ 従業員数	28名				
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<table><tr><td>建設工事</td><td>がれき類</td><td>保管</td><td>再生処理</td></tr></table>	建設工事	がれき類	保管	再生処理
建設工事	がれき類	保管	再生処理		

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	コンクリート塊
	排出量	0.39 t	74.74 t
	(これまでに実施した取組)  受注によって大きく左右されるが、過去数年間の傾向や前年度の受注高を基にして推計する等により、産業廃棄物の種類毎の搬出量を予測する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	コンクリート塊
	排出量	1 t	50 t
	(今後実施する予定の取組)  これまでに実施した取組を継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  がれき類のアスコン破片とコンクリート破片を分別保管する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  これまでに実施した取組を継続する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	コンクリート塊
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）  自ら再生利用は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	コンクリート塊
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）  自ら再生利用は行わない。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	コンクリート塊
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	コンクリート塊
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組）  自ら中間処理は行わない。			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	コンクリート塊
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）  自ら埋立処分処分又は海洋投入処分は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	コンクリート塊
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）  自ら埋立処分処分又は海洋投入処分は行わない。		

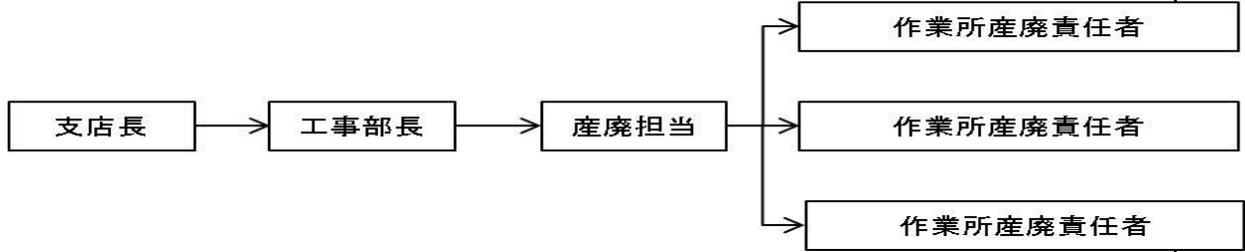
## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	コンクリート塊
	全処理委託量	0.39 t	74.74 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.39 t	74.74 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
（これまでに実施した取組）  委託基準に従って協力業者を選定し、書面による契約を実施している。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	コンクリート塊
	全処理委託量	1 t	50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1 t	50 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・ コンクリート塊	管理型建設混合廃棄物
	排出量	2,916.54 t	2.86 t
	(これまでに実施した取組)  受注によって大きく左右されるが、過去数年間の傾向や前年度の受注高を基にして推計する等により、産業廃棄物の種類毎の搬出量を予測する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・ コンクリート塊	管理型建設混合廃棄物
	排出量	400 t	1 t
	(今後実施する予定の取組)  これまでに実施した取組を継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  がれき類のアスコン破片とコンクリート破片を分別保管する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  これまでに実施した取組を継続する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・ コンクリート塊	管理型建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)  自ら再生利用は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・ コンクリート塊	管理型建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  自ら再生利用は行わない。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・ コンクリート塊	管理型建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・ コンクリート塊	管理型建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)  自ら中間処理は行わない。			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・ コンクリート塊	管理型建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）  自ら埋立処分処分又は海洋投入処分は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・ コンクリート塊	管理型建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）  自ら埋立処分処分又は海洋投入処分は行わない。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・ コンクリート塊	管理型建設混合廃棄物
	全処理委託量	2916.54 t	2.86 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2916.54 t	2.86 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）  委託基準に従って協力業者を選定し、書面による契約を実施している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・ コンクリート塊	管理型建設混合廃棄物
	全処理委託量	400 t	1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	400 t	1 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			